

「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」
世界で役立つ新薬の研究開発を推進し、
社会に貢献していきます。



当社グループは、「病気と苦痛に対する人間の闘いのために」という企業理念のもと、いまだ満たされない医療ニーズに応えるため、真に患者さんのためになる革新的な新薬の創製を目指し、積極的な努力を続けています。また、人の生命に関わる医薬品を取り扱う製薬企業としての責任を深く自覚し、法令遵守はもとより高い倫理観に基づき行動すべく、コンプライアンスの一層の強化に努めています。

新薬開発型医薬品企業として永続的な発展を実現するため、次のとおり、事業の根幹となる創薬の方針と現状における課題を定めています。

創薬の方針については、新薬創製のプロセスにおいて、特定の疾患を対象とするのではなく、生理活性脂質や酵素阻害剤などを重点領域と定め、各種標的に対する作用を持つ化合物をライブラリーとして蓄積し、そのなかから疾患や治療に結びつく薬剤を探し出す「化合物オリент」という創薬手法で独創的な新薬の創製を行ってきました。現在、豊富に蓄積されたライブラリーを有効に活用するとともに、疾患や治療に関連した化合物をより早く高い精度で探し出すことができる技術を導入するなど、改良を加えた新たな「化合物オリент」による新薬創製を進めています。また、世界最先端の知見や技術を有する研究機関や大学、ベンチャー企業などとの提携を機動的に行い、創薬研究の効率を高め、新薬創製の成功確率を向上させます。

医薬品業界においては、新薬創製の成功確率が年々低下し、研究開発コストが増大するなかで、医療制度改革による種々の医療費抑制政策が進展するなど、厳しい環境が続いています。このようななか、現状における課題に対し次のとおり取り組むこととしています。

① 開発パイプラインの拡充

持続的成長のためには、開発パイプラインを拡充し、継続的に新薬を市場に送り出して行くことが不可欠です。当社独自の創薬手法および世界最先端の技術の活用によって、独創的かつ画期的な医薬品創製をスピーディーに進めるとともに、事業戦略性の高い新薬候補化合物、あるいは医療ニーズの高い疾患に対する魅力ある新薬候補化合物を引き続き導入していくことにより、今後も継続的な新薬上市に努めていきます。また、臨床試験では有効性と安全性を早期に確認し、新薬開発のスピードアップにも努めていきます。

② 海外展開の推進

自社創製の新薬を世界中にお届けできるよう、海外での臨床開発を推進するとともに、海外提携企業への導出を通じて、自社創製化合物を海外でも上市していくことを目指してグローバルな事業展開を進めます。また、抗がん剤などスペシャリティー製品については自社販売を見据え、海外現地拠点の強化に取り組むとともに、海外での事業展開を見据えた人材育成を推進していきます。

③ 企業基盤の強化

グローバルレベルでの競争力を高めていくため、人材の育成と活性化に努めます。また、多様性の向上や社内外の連携強化により、さまざまな環境変化への対応とイノベーションの実現を図っていきます。さらに、企業倫理、社会貢献、環境への配慮、リスク対応などの観点からCSR活動の一層の推進に取り組みます。なかでも、CSR活動については、「小野薬品行動規範」に基づき、コーポレート・ガバナンスを土台とした重点領域（「革新的な医薬品」「人財・人権」「環境」「公正な事業慣行」「社会」）を定め、6つのそれぞれの課題について、全社的な取り組みとして推進していきます。

皆さまの平素からの多大なるご支援に感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 相良 暁